



西原地区 福祉のまちづくり計画

《令和7年度～令和9年度(3年間)》

■計画策定までの流れ

* 地域の強み

- 地域の強みを出し合いました。
- ・代々住んでいる人が多いため、地域内の団結力があり、各団体などの運営体制が整備されている
 - ・地域課題への取り組みに対して、賛同者が多く支援が集まりやすい
 - ・小学校の学区内が1つの地区になっている
 - ・街中でもあり、自然や伝統などの田舎の良さが残る地区
 - ・歴史が長く、伝統文化を継承している
 - ・文教地区であり、スーパーやドラッグストアなど日常生活に欠かせない施設も多く利便性が高い
 - ・子どもの頃からのボランティア活動が広く定着している
 - ・スポーツ行事の実施の充実
 - ・新川清掃の実施をしている
 - ・年3回情報紙の発行をしている
 - ・コミセンでのサークル活動(いきいきライフ)を実施している
 - ・月1回各団体長や各学校長との合同会議を実施している

* 課題の抽出

- 地域で気になること(課題)について話し合いました。
- ・空き家が増えている
 - ・クリニックが閉院したことで病院に行きにくい人が出てきてしまっている
 - ・買い物に行きにくい人がいる
 - ・ご近所付き合いが減っている → ひきこもりに影響する
 - ・ひとり暮らしの人が増加している
 - ・高齢化が進んでいる
 - ・老々世帯が増えている
 - ・障がいに関する相談が増えている
 - ・少子化が進んでいる
 - ・育成会の活動はあるが、育成会をやめる人が増えている
 - ・子どもに関する問題が増えている
 - ・サロンが減っている

* 目指す地域の姿

- 目指したい地域の姿の意見を出し合った中から、計画のタイトルを決めました。
- ・地域内の連携を深めるため、各団体が協力し、伝統を継承して各種イベントを実施します
 - ・安心して暮らせる環境を整えるために、支え合い・助け合いを推進します
 - ・近所同士で何かあったときに支え合える仕組みを作ります

計画の完成

* 実現のために取り組むこと

■課題を3つの基本目標の категория に分類し、その解決と、目指す地域の姿を実現するために、地域で取り組む具体的な内容を導き出しました。また、地域の誰が中心に、いつまでに取り組んでいくかも決めました。

■西原地区福祉のまちづくり計画策定委員

	氏名	役職等
1	福田 光作	西原地区連合自治会長
2	岩本 正男	西原地域コミュニティ協議会長
3	檜山 和子	西原地区社会福祉協議会長
4	増淵 祥子	西原地区健康づくり推進会長
5	小野寺 京子	福祉協力員
6	渡邊 公鋭	自治会員
7	佐藤 祐子	西原地域コミュニティセンター職員
8	地域包括支援センター ようなん	
9	医療法人賛永会 さつきホームクリニック	

発行年月日: 令和8年1月
 編集: にしはら支え隊(西原地区第2層協議体) 連絡先: 宇都宮市社会福祉協議会(☎028-636-1215)

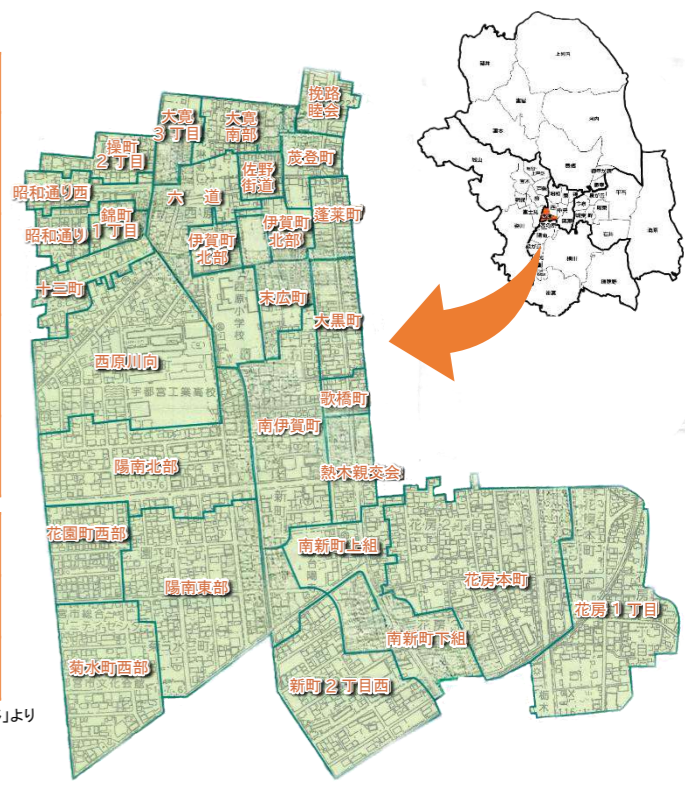
福祉のまちづくり計画って？

地区の福祉課題を把握し、その解決のために今後どのような活動に取り組んでいくのか、また、将来の姿を見据えて「福祉のまちづくり」をどのようにすれば実現できるのかを、地区のみなさんで話し合い、中期的(3～5年程度)にまとめた計画です。

■西原地区の現状

	西原地区	宇都宮市
人口	年少人口 607人※1 10.4(%)	★64,953人※2 (12.6%)
	生産年齢人口 3,288人※1 56.3(%)	★318,110人※2 (61.5%)
	高齢者人口 (高齢化率) 1,944人※1 33.3(%)	★134,434人※2 (26.0%)
	西原地区合計	★517,497人※2
自治会数	★28	★784
自治会加入世帯数	★1,752	★130,322
全世帯数	3,004※1	241,965※1

※1: 令和4年10月1日現在
 ※2: 令和4年12月末日現在



■西原地区の特徴

西原地区は、全域が市街化区域であり、平坦な住宅地で、小学校、中学校、高等特別支援学校が隣接する文教地区である。スーパーマーケットやドラッグストア等、日常生活に欠かせない施設も多い。

また、東武宇都宮線やJR宇都宮線を利用するためのバス停も整備されており、交通の便もよく、利便性が高い地域である。

また、蓬萊町の彫刻屋台や、一向寺の汗かき阿弥陀等の文化財や、戊辰戦争ゆかりの碑や新川桜並木など、名所旧跡も多く、文化資源にも恵まれた地域である。


春の桜まつり、夏のほたる祭りや秋の文化祭や体育祭、冬はどんど焼きを実施するなど、年間を通して地域住民が触れ合う行事が目白押しで、住民活動も活発である。



▲新川に咲く桜

笑顔あふれる西原地区

地区の皆さんから出された地区の課題を整理して、目指す地区の姿を考え、それを実現するために必要な取り組みと、地区の強みを生かした、具体的な実行計画を立てました。

基本目標	抽出された課題	取組	具体的な取組(内容)	活動主体	2025 ~2026	2027	2028
1. 福祉の こころを はぐくむ 人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化が進んでいる ・子どもに関する問題が増えている ・ご近所付き合いが減っている 	地域内の連携を深めるため、各団体が協力し、伝統を継承して各種イベントを実施します	<ol style="list-style-type: none"> ①各団体が行っている各種地域行事やイベントの参加促進(子どもを含む) ②老人クラブの活動の活性化 ③小学生の登下校の見守り活動の実施 	<ol style="list-style-type: none"> ①コミュ協、自治会、子ども会、老人クラブ、YCC西原等 ②老人クラブ等 ③PTA、パトロールボランティア等 	実施		第6次宇都宮市地域福祉活動計画と併せてリニューアルし、策定・推進し
2. 共に 支え合う 地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの人が増えている ・高齢者や老々世帯が増えている ・サロンや居場所が減っている 	安心して暮らせる環境を整えるために、支え合い・助け合いを推進します 	<ol style="list-style-type: none"> ①ふれあい・いきいきサロンの実施 ②年末防犯パトロールの実施 ③見守り訪問の実施 ④安心・安全情報キットの配付の推進 ⑤コミュカフェ(高齢者の居場所)の実施(西原ささえ隊) 	<ol style="list-style-type: none"> ①地区社協、老人クラブ等 ②自治会、防犯協議会等 ③地区社協、民児協、福祉協力員等 ④地区社協、民児協、福祉協力員等 ⑤自治会、コミュ協、地区社協、民児協、福祉協力員、YCC西原、コミセン、包括、企業等 			
3. 安心して 暮らせる 福祉の 基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症やひとり暮らしにより、日常生活に不安を抱える高齢者が増えている ・ご近所付き合いが減っている 	近所同士で何かあったときに支え合える仕組みを作ります	<ol style="list-style-type: none"> ①西原ささえ隊の活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・支え合い活動(草むしり活動)の実施 ・認知症徘徊模擬訓練の実施 ・スマホ教室の開催 ②各種団体の連携による福祉のまちづくり計画の策定・進行管理 	<ol style="list-style-type: none"> ①自治会、コミュ協、地区社協、民児協、福祉協力員、YCC西原、コミセン、包括、企業等 ②自治会、コミュ協、地区社協、民児協、福祉協力員、コミセン、包括、企業等 			

新川桜祭り

蓬萊町の山車

蛍祭り

西原キャンプ

敬老会

西原地区体育祭

どんど焼き